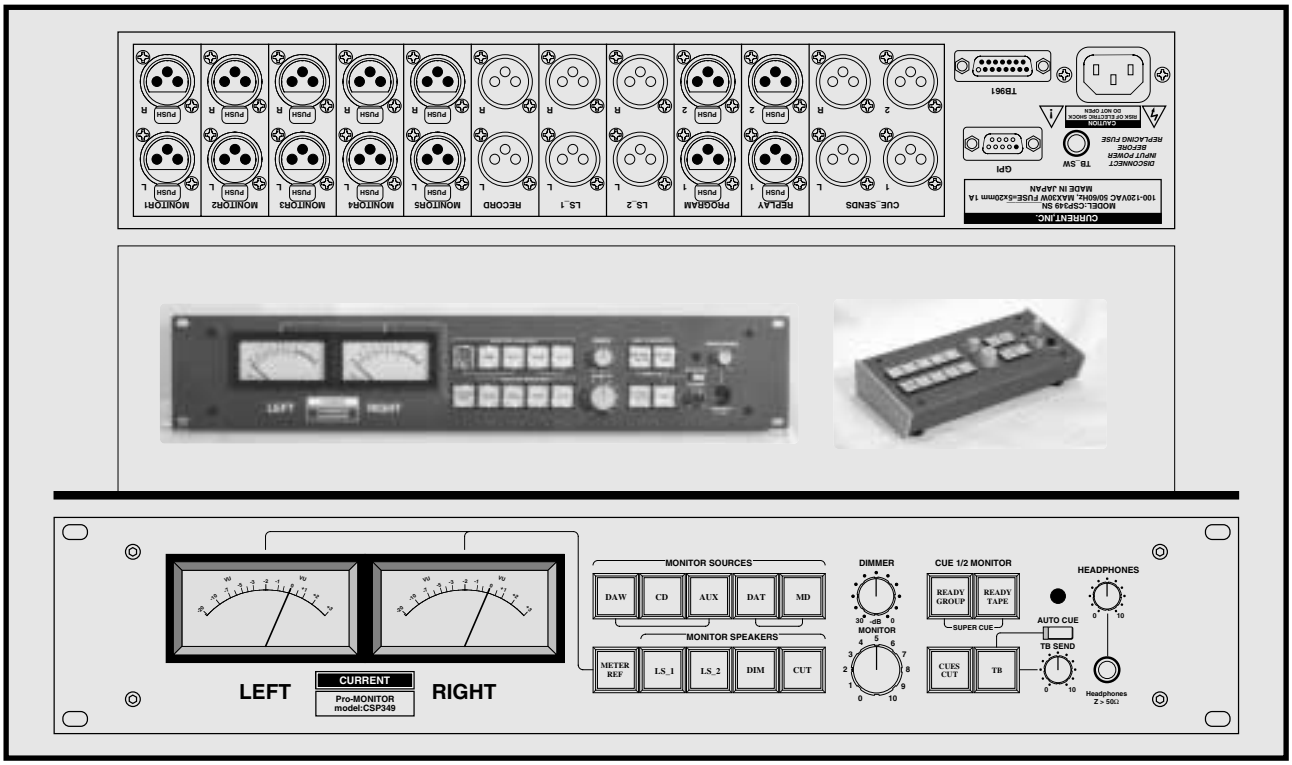
CURRENT PRODUCTS model:CSP349
PRO MONITOR



●５系統のモニターセレクター ●SUPER CUE● ３系統のスピーカー
●ReadyGroup/ReadyTape機能 ●トークバック ●オートCUE
●RECアウト ●超高音質 ●CUEボックス対応 STEREO+1/2
●ヘッドフォンモニター ●リファレンス可変ＶＵメーター

ＣＳＰ３４９はモニター、VUメーター、CUEボックス、トークバックシステムをワンパッケージにしたDAWシステムに最適なモニタリングシステムです。ダビング時に問題となる生音とプレイバックのレイテンシー問題を解決するReadyGroup/ReadyTape機能を備えます。

◆モニターセレクター

モニターソースは５系統あり、ソース１、２、３は主にプレイヤー、４、５はレコーダーを接続します。１－３は選択したものがRECアウトへ出力され、４，５ではプレイバックモニターが可能です。（４、５はRECアウトへ出力されません）モニターセレクターは内部スイッチで１－５を連動するように変更することも出来ます。この場合、RECアウトへは１－５のモニターしているソースが出力されます。また、RECアウトは内部スイッチの切換でモニタースピーカーの３系統目として使用できます。(LS1,2がoffの状態)

◆ReadyGroup/ReadyTape

ダビング時にプラグインを多用した場合などに生音とリプレイのレイテンシーが問題になることがあります。これを解決するのがReadyGroup/Tape機能で、ProToolsの場合にはUSD/SyncI/Oから出力されるRecタリーにより、CUEへ送るモニターをProToolsから生音へ切り換えます。ReadyGroupとReadyTapeの両方をONにした場合にはSuperCueモードとなり、RecになるまではリプレイとプログラムをミックスしたものがCUE１、２へ送られ、RECになるとプログラムだけになります。これらの機能を使用するためにはオーディオI/Oユニットに入力するプリアンプなどの信号をパラでGroupInputへ入力する必要があります。タリーを接続しない場合にはCUE1,2のセレクタとして使用可能で、ReadyGroupでプログラム、ReadyTapeでリプレイが出力されます。

◆トークバック

本体スイッチ、リモートTBボックス、フットスイッチでCUEボックスに対してトークバックが可能です。また、マイクコンプレッサーは内蔵とリモートがリンクされていますのでどちらでも明瞭なコミュニケーションが出来ます。AutoCueをONにするとPLAYまたはRECタリーが来るまではトークバックがONになり、PLAYまたはREC状態になると自動的にOFFになりますので手放しでコミュニケーションが出来ます。

◆ＶＵメーター

標準では+4dBuですが、"METER REF”ボタンで0VUを10dBアップの+14dBuに切り換えることもできます。(内部で調整可能です。)

◆リモートユニット

CSP349Dはコントロール部が独立したタイプですので、デスクトップで操作することが可能です。(標準付属ケーブルは１m)本体フロントパネルはＶＵメーターとリモートコネクタのみとなります。

◆その他

CUEボックスにはステレオ＋モノ６のSC6014、ステレオ＋モノ８のSC8016A及びCUEマスターとして最適なCSP410も併せてご検討ください。

SPECIFICATIONS

- **AUDIO INPUTS:** BALANCED, 24kΩ **CONNECTOR**: XLR3-F
- **INPUTS REFERENCE LEVEL**: +4dBu, MAX=+24dBu
- **AUDIO OUTPUTS:** BALANCED, 50Ω **CONNECTOR**: XLR3-M
- **OUTPUTS REFERENCE LEVEL**: +4dBu, MAX=+24dBu
- **FREQ.RESPONSE:** 20 to 20kHz ±0.1dB **THD:** <0.01% at Ref.Level
- **EIN:** <-90dB **MAINS:** 100-120VAC 50/60Hz MAX 30W
- **DIMENSIONS:** 482Wx88Hx303D, 6kg

ラックマウント型	ＣＳＰ３４９：	￥５６０，０００
デスクトップ型	ＣＳＰ３４９Ｄ：	￥７２０，０００
ＴＢボックス	ＴＢ９６１Ｐ：	￥５６，０００
ＴＢケーブル５ｍ	ＴＢ９６１ＰＷ：	￥３２，０００
GPIケーブル５ｍ	ＣＳＰ３４９ＷＧ：	￥１６，０００
ＣＵＥボックス	ＳＣ６０１４：	￥１９８，０００
ＣＵＥケーブル５ｍ	ＣＣ６０１４	￥２５，０００
ＣＵＥ電源	ＰＳ６０１４Ｐ：	￥８０，０００

価格はいずれも税別　付属品：ＡＣケーブル

CURRENT,INC. 2-26-11, AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0044 JAPAN
株式会社カレント 〒156-0044 **東京都世田谷区赤堤**2-26-11 TEL:81-3-3321-9559　FAX:81-3-5376-2735

The specifications are subject to change without notice. 記載内容は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
(c)2008 CURRENT,INC. www.crnt.co.jp

Monitoring System CSP349

Audio I/O or Equivalent

Out 1/2

M — Preamp CSP169/etc. — Program in 1

M — Preamp CSP169/etc. — Program in 2

HP

1-3

4-5

Meter reference

Monitor1

Monitor2 — DVD/CD (Player)

Monitor3 — AUX (Player)

Monitor4 — DAT (Recorder)

Monitor5 — MD (Recorder)

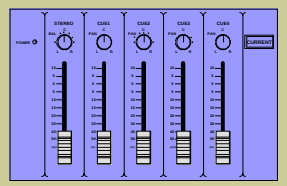
c/o

LS3

Record Ouputs / LS3

Dim

CUE BOX SC6014P



CUE L

CUE R

CUE 1

CUE 2

ReadyGroup

Dimmer

Monitor

CUT

LS1

LS2

DIM

Replay 1 — Out 3

Replay 2 — Out 4

PA — Main SP

PA — Mini SP

Rec/Play Tally

GPI

ReadyTape

AutoCue

TB Send

Compressor

TB

Master CUES CUT

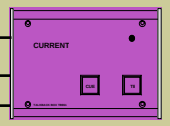
M

TB MIC

TB

AutoCue

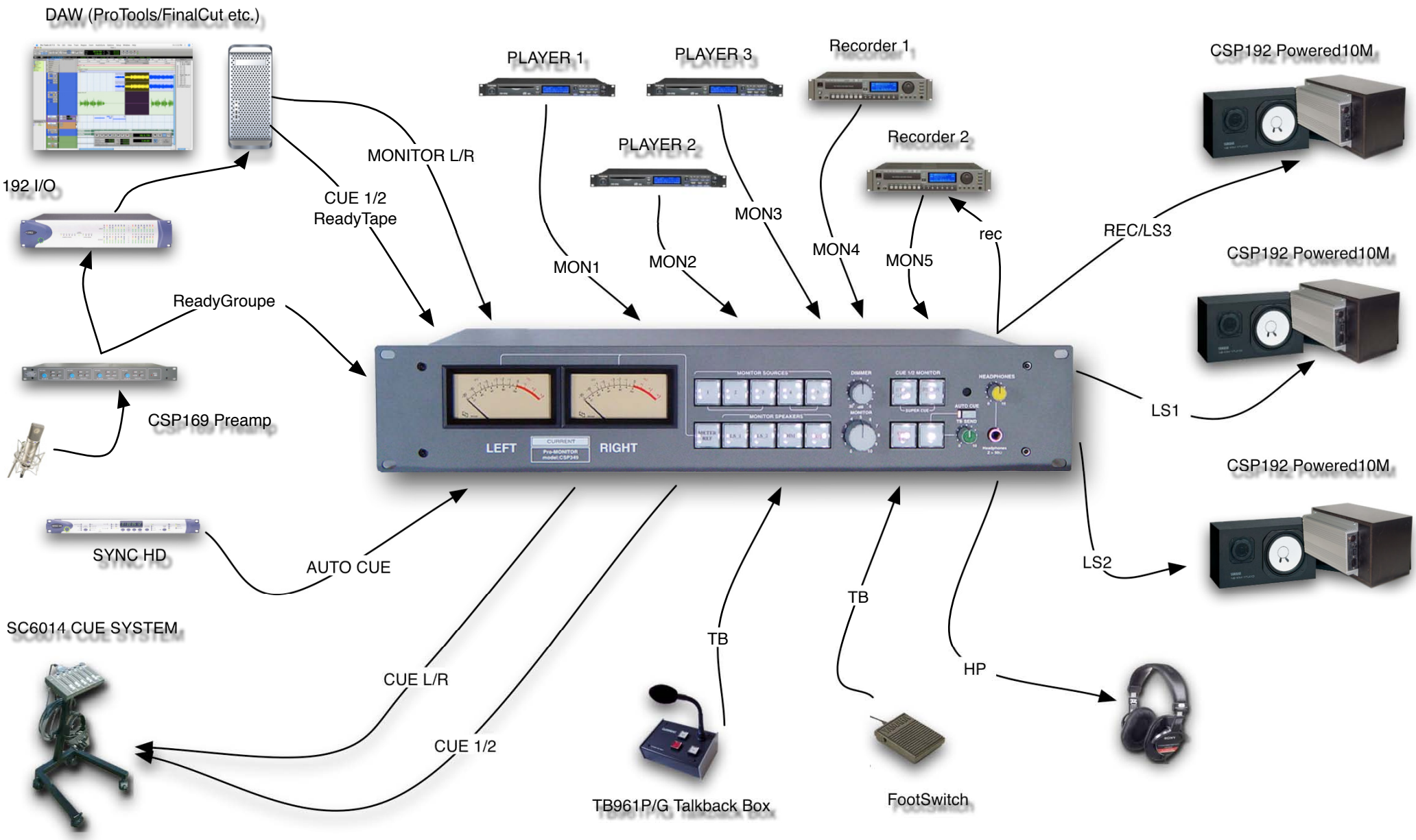
Remote Talkback Box TB961P



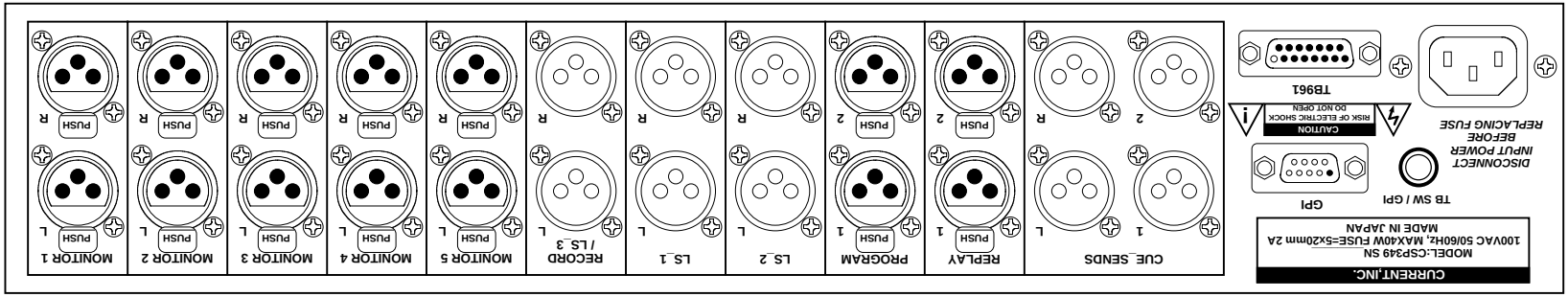
Talkback SW(Foot sw)

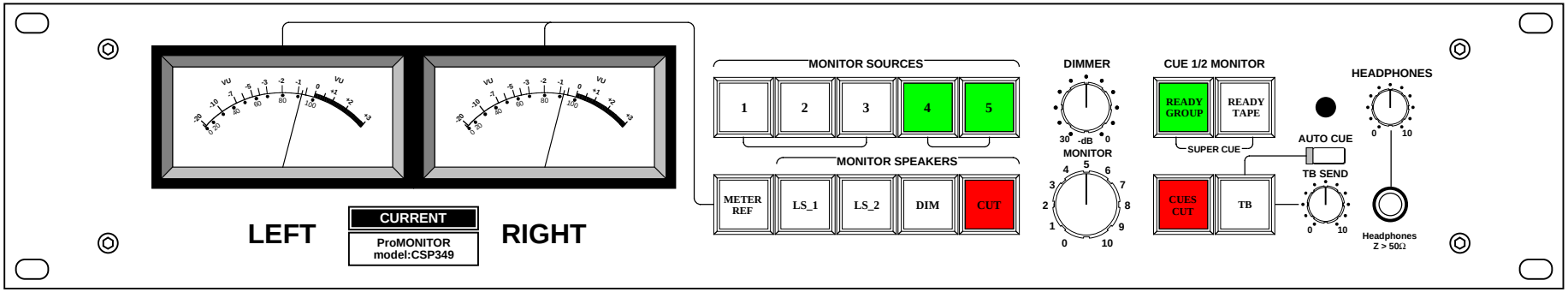
(C)CURRENT,INC.	Pro Monitor CSP349	Jan.2003
H.Ichihashi	System Diagram	CSP349-B

CSP349 Monitoring System



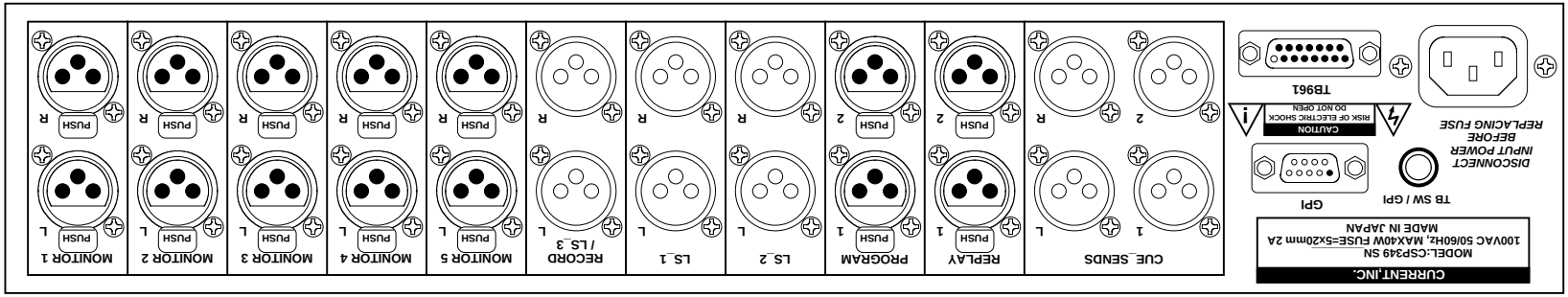
(c)CURRENT,INC.

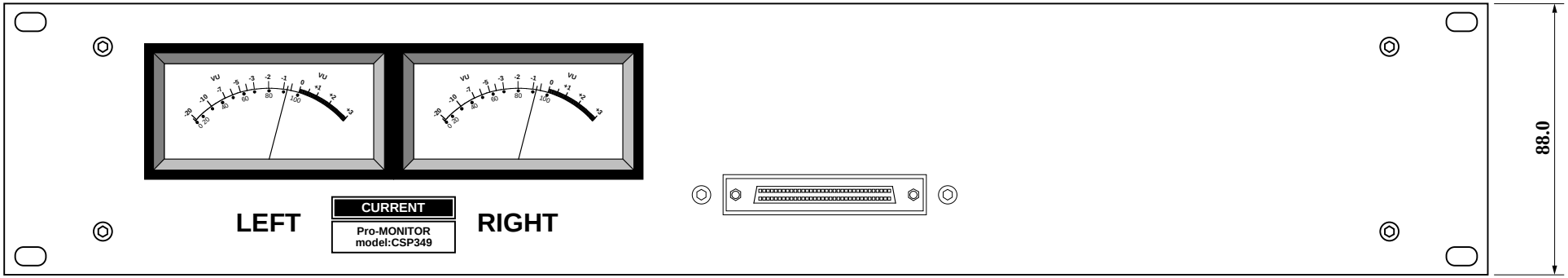


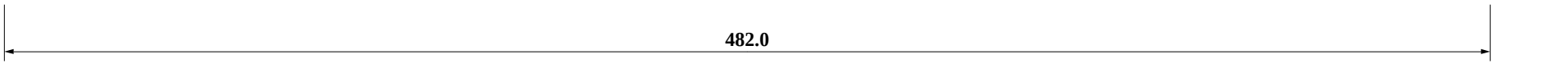


Jul.2004

(c)CURRENT,INC.	ProMONITOR CSP349	DEC.2001
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	CSP349-D-2004

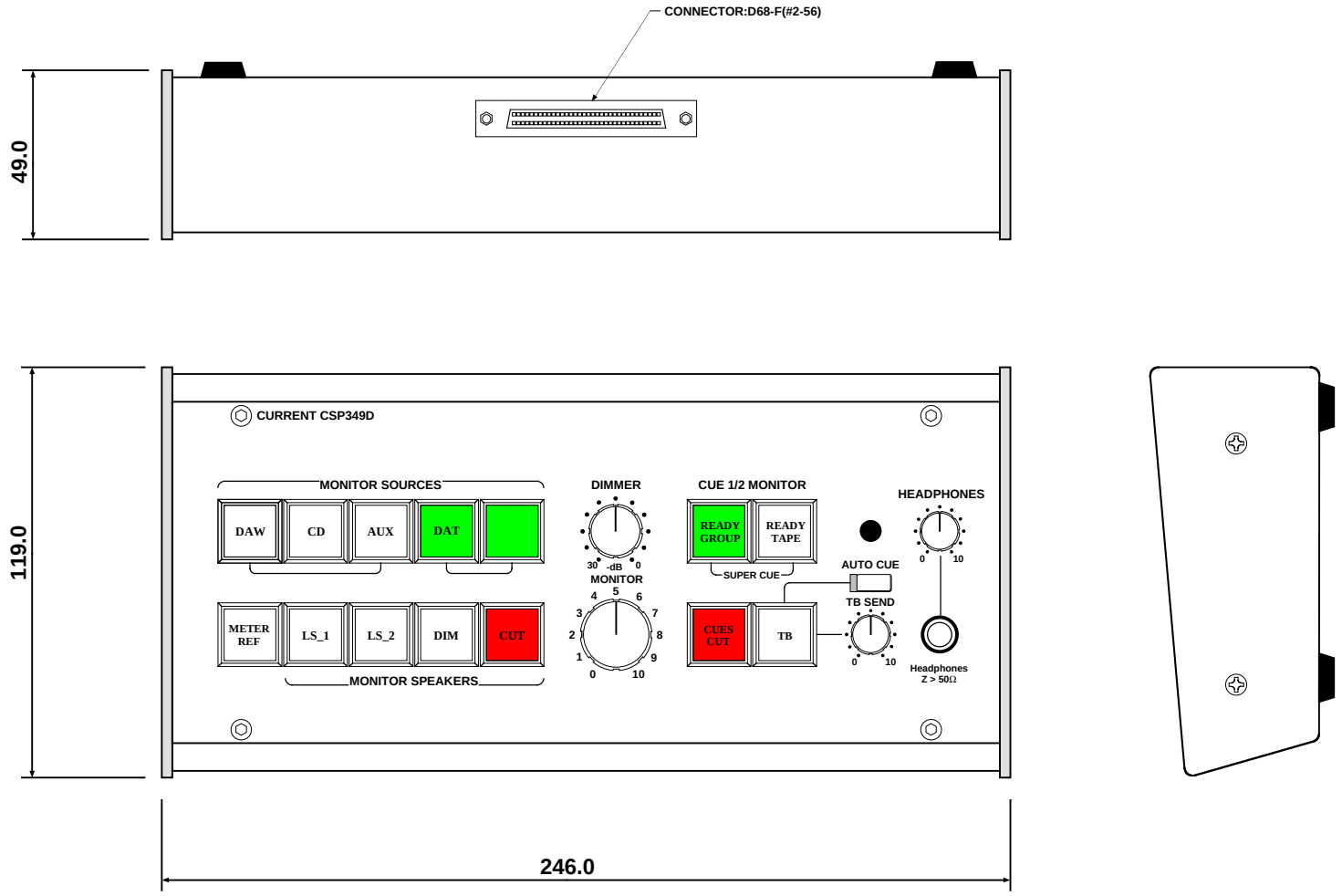






Jan.2004

(c)CURRENT,INC.	Pro-MONITOR CSP349D	Jan.2001
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	CSP349D-D2004



(c)CURRENT,INC.	CSP349D ProMONITOR	Jan.2004
H.ICHIHASHI	REMOTE PANEL DIAGRAM	CSP349D-D

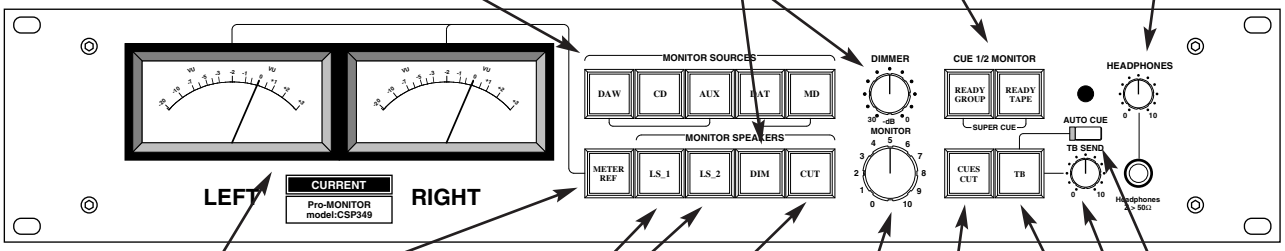
ProMonitor CSP349 (rev.2)

モニターセレクタ
５系統のソースを選択出来ます。ソース１，２，３は選択したものがRecordOutへ出力されます。ソース５，６はRecordOutを録音しながらのプレイバックモニターが可能です。電源投入時にはソース１が選択されます。内部のＳ５０１スイッチで１－５をチェンジオーバーモードへ切り換えることも出来ますが、この場合にはプレイバックモニターはハウリングが起こるため使用できません。

ＣＵＥ１，２モニター切り換え
ReadyGroup、ReadyTapeともにOFFの場合にはReplayが送られ、RECタリーが入力されてもそのままです。Groupが押されているとProgramが送られREC時もProgramです。Tapeが押されているとReplayが送られ、RECになるとProgramに切り替わります。両方押されているとSuperCueモードになり、ProgramとReplayがMIXされて送られ、RECになるとProgramだけに切り替わります。タリーを使用しない場合にはＣＵＥ１，２のソースセレクタとして使用できます。

ヘッドフォンレベル
ヘッドフォンはモニターセレクタで選択したものをモニターできます。ヘッドフォンはインピーダンスが５０Ω以上のタイプを使用してください。

ＤＩＭレベル
０ｄＢから約－３０ｄＢまで可変出来ます。



ＶＵメーター
モニターセレクタで選択したソースを表示します。基準レベルは＋４ｄＢｕですが、MeterRefスイッチで１０ｄＢアップの＋１４ｄＢｕに変更できます。

スピーカー切り換え
ＬＳ１とＬＳ２を切り換えます。両方ともＯＦＦの場合には内部スイッチのＳ１０２の設定によりＬＳ３に切り替わります。電源投入時にはＬＳ１が選択されます。

モニターカット
モニタースピーカーをカットします。電源投入時にはＣＵＴになります。

モニター
メインとミニスピーカーのモニターレベルです。

トークバック
ＴＢボタンでＣＵＥ出力ＬとＲへトークバックを送ります。AutoCueをONにするとＴＢがＯＮになり、PLAYまたはRECタリーで自動的にOFFになります。

CUEカット
全てのCUE出力をカットします。

レコード出力／ＬＳ３出力
ソース１－３の選択したものが出力されます。内部スイッチのＳ１０１の設定で１－５を出力することも出来ます。また、Ｓ１０２の設定でＬＳ３の出力にもなります。

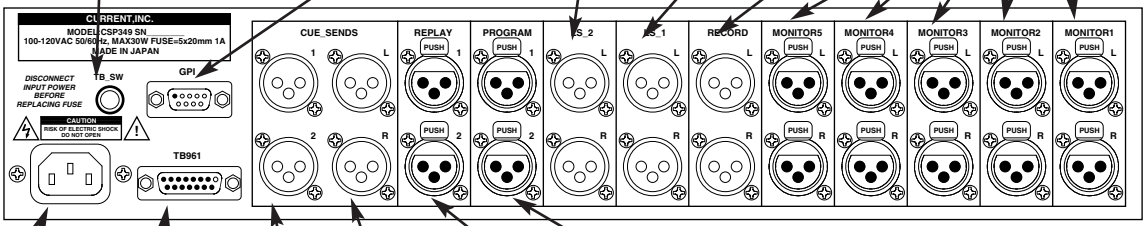
トークバックスイッチ
市販のフットペダルでトークバックをＯＮ／OFF出来ます。フットペダルは踏んだときに導通するタイプを使用してください。

ＧＰＩ
ＰＬＡＹ及び、ＲＥＣタリーを接続します。

ミニスピーカー出力

メインスピーカー出力

モニターソース入力１－５



プログラムソース入力
ＣＵＥ１，２へ送られるモニターソース入力です。通常はマイクプリアンプなどの録音ソースをレコーダー入力とパラで接続します。

ＴＢ９６１
リモートトークバックボックスＴＢ９６１Ｐを接続します。

ＣＵＥセンドＬ，Ｒ
ＣＵＥモニター用出力です。トークバックはこの出力にMIXして出力されます。

リプレイソース入力
ＣＵＥ１，２へ送られるモニターソース入力です。レコーダーのＣＵＥモニター用信号を接続します。

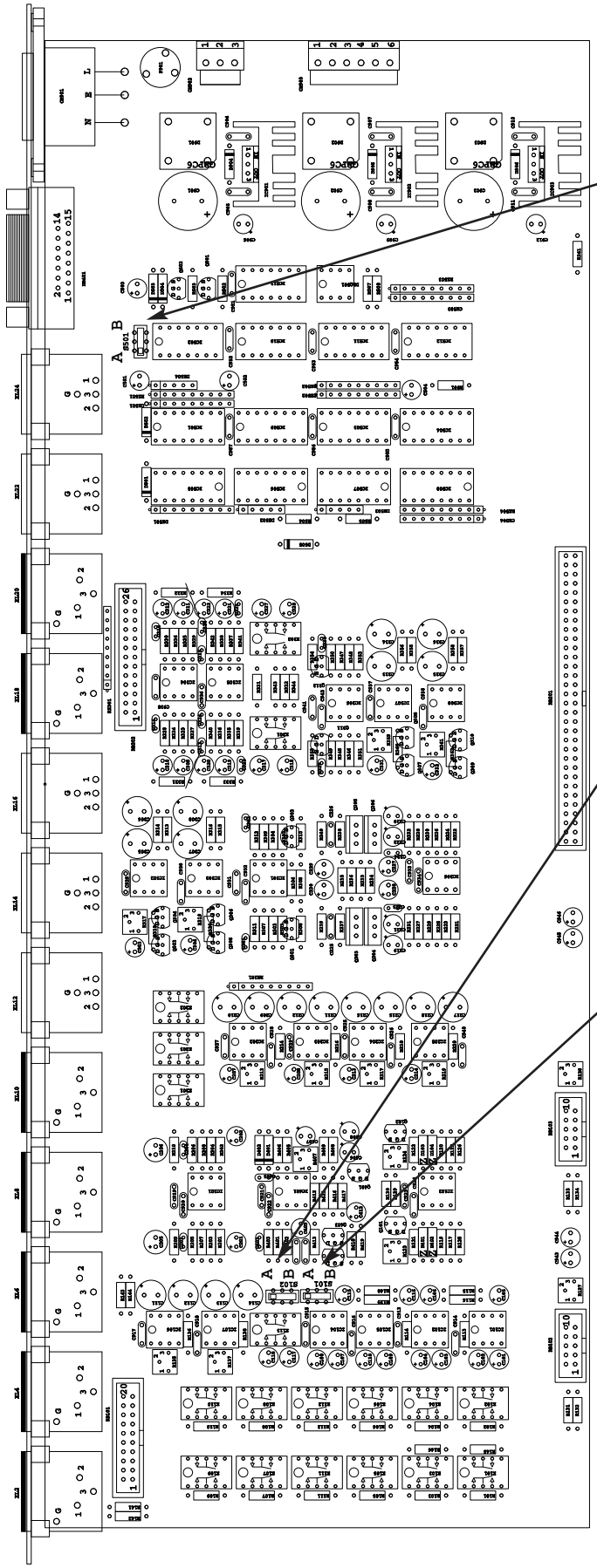
AC100V 50/60Hz入力
ヒューズは内部にあり、FUSE=250V 2Aで５ｘ２０ｍｍタイプを使用して下さい。

ＣＵＥセンド１，２
ＣＵＥモニター用出力です。ReadyGroup、ReadyTapeの機能はこの出力を使用します。

(c)2003 CURRENT,INC. www.crnt.co.jp 2-26-11 AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156, JAPAN TEL:81-3-3321-9559

powered by QarkXpress3.3J

ProMonitor CSP349 (rev.2)



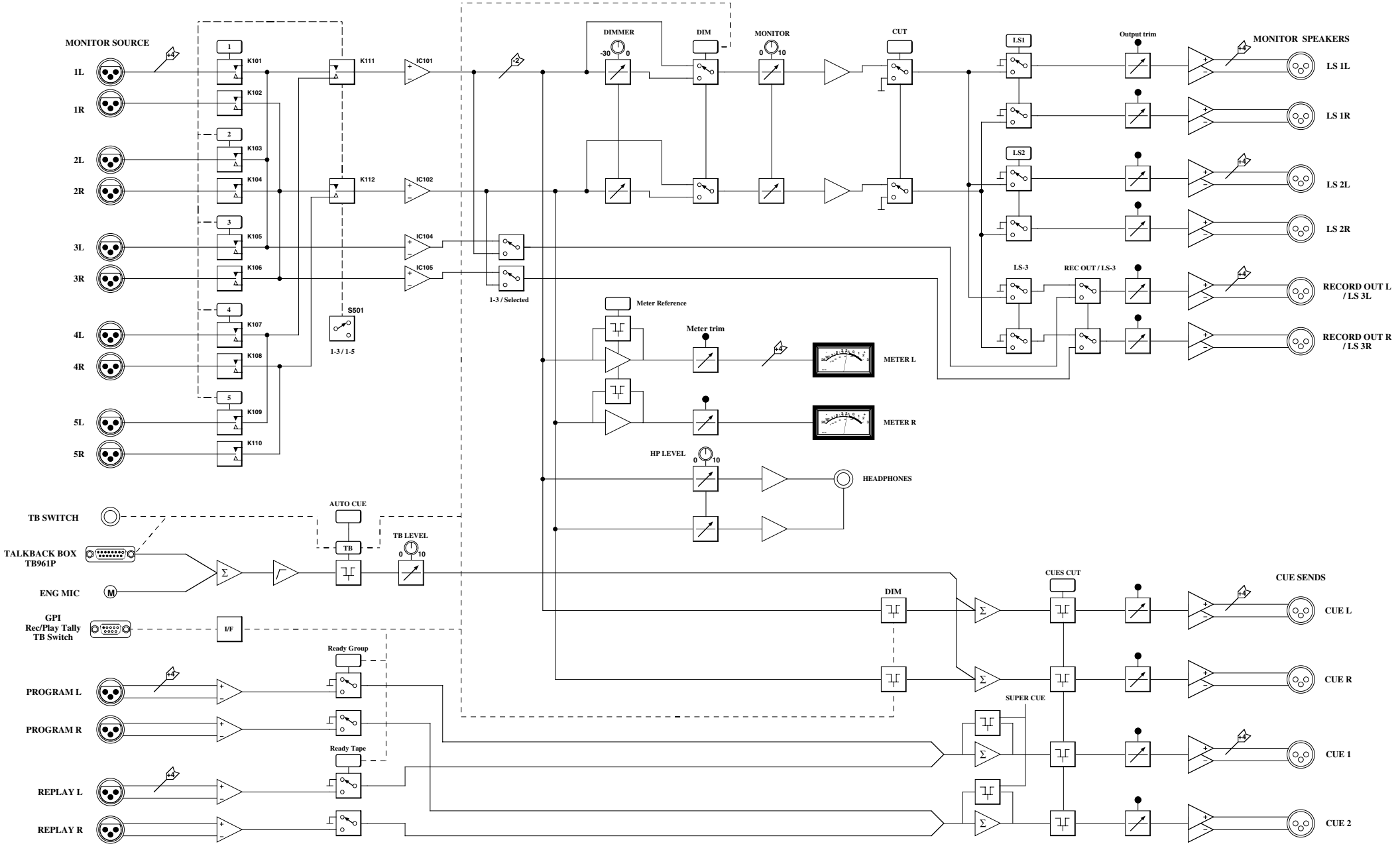
Ｓ５０１：モニターセレクターモード
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとモニターセレクタ１－５が全て跳ね返り（チェンジオーバー）モードになります。通常はREC OUTを使用しない場合にＳ１０１と併用します。Ｓ１０１がデフォルトの状態では４，５を選択したときにREC OUTには出力されません。

Ｓ１０２：REC OUT / LS3
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとフロントパネルのＬＳ１，２スイッチがいずれもＯＦＦの時には第３のモニタースピーカ出力となります。
このスイッチがデフォルトの場合にはＬＳ１，２をＯＦＦにしてもREC OUTのままです。

Ｓ１０１：REC OUTモード
デフォルトはＡに設定されていますが、Ｂに切り換えるとモニターセレクタで選択したソースが出力されます。通常はＳ５０１と併用します。Aのままだとソース１－３を選択した場合にのみ出力されます。

(c)2003 CURRENT,INC. www.crnt.co.jp 2-26-11 AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156, JAPAN TEL:81-3-3321-9559

powered by QarkXpress3.3J



Sep.2003

(c)CURRENT,INC.	PRO MONITOR CSP349	Dec.2000
H.ICHIHASHI	SYSTEM DIAGRAM	CSP349-B

rev2

CSP349 Connector Pin List

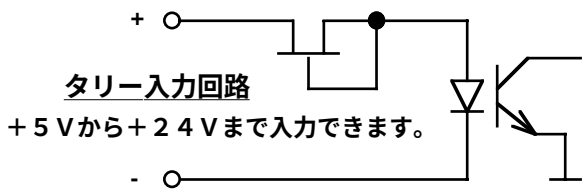
"TB961P" D15-F(#4-40) Connector

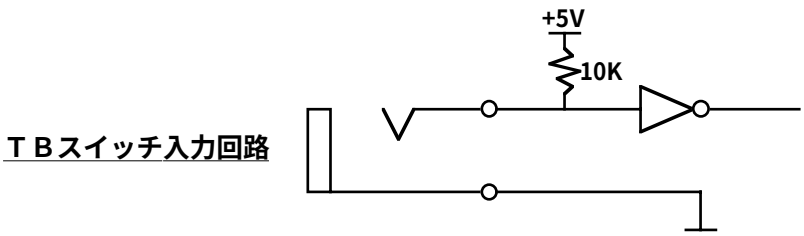
~~Ribbon~~	Hard	Signal name	Designation	Active
~~1~~	1			
~~2~~	9			
~~3~~	2	LP COM	LAMPS COMMON	+5V
~~4~~	10	SW COM	SWITCHES COMMON	0V
~~5~~	3	TB SW	TB SWITCH	0V
~~6~~	11	TB LP	TB LAMP	0V
~~7~~	4	AUTO CUE SW	AUTO CUE SWITCH	0V
~~8~~	12	AUTO CUE LP	AUTO CUE LAMP	0V
~~9~~	5			
~~10~~	13			
~~11~~	6			
~~12~~	14			
~~13~~	7	+5V	+5V MIC POWER	+5V
~~14~~	15	TB MIC	TALKBACK MIC SIGNAL	
~~15~~	8	GND	MIC GND	0V

TBマイク信号には必ず２芯シールド線を使用してください。

"GPI" D9-M(#4-40) Connector

~~Ribbon~~	Hard	Signal name	Designation	Active
~~1~~	1	REC+	REC TALLY +	
~~2~~	6	REC-	REC TALLY -	
~~3~~	2	PLAY+	PLAY TALLY +	
~~4~~	7	PLAY-	PLAY TALLY -	
~~5~~	3			
~~6~~	8			
~~7~~	4			
~~8~~	9			
~~9~~	5			



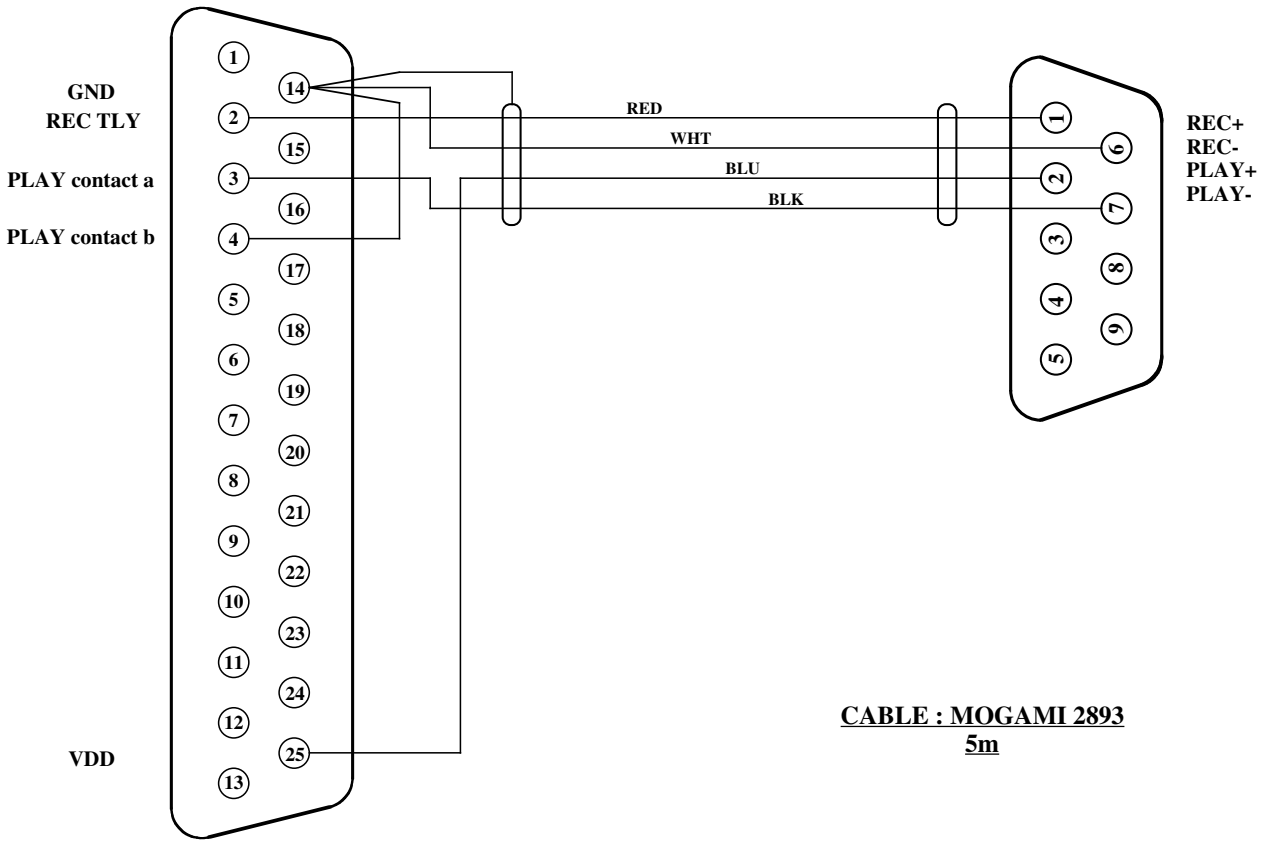


取付ビスは＃４－４０インチビスを使用して下さい

CAUTION! D-Connector for wiring refer to Hard pin number Description.

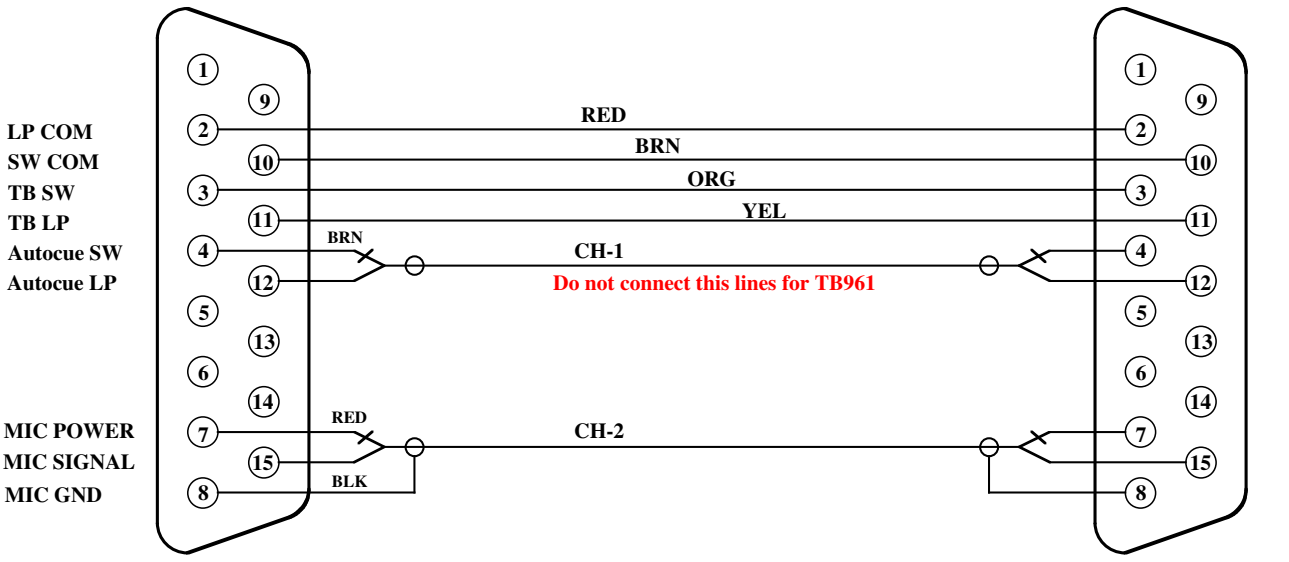
(c)2001-2008 CURRENT,INC.

GPI CABLE



CABLE : MOGAMI 2893
5m

TB961P CABLE

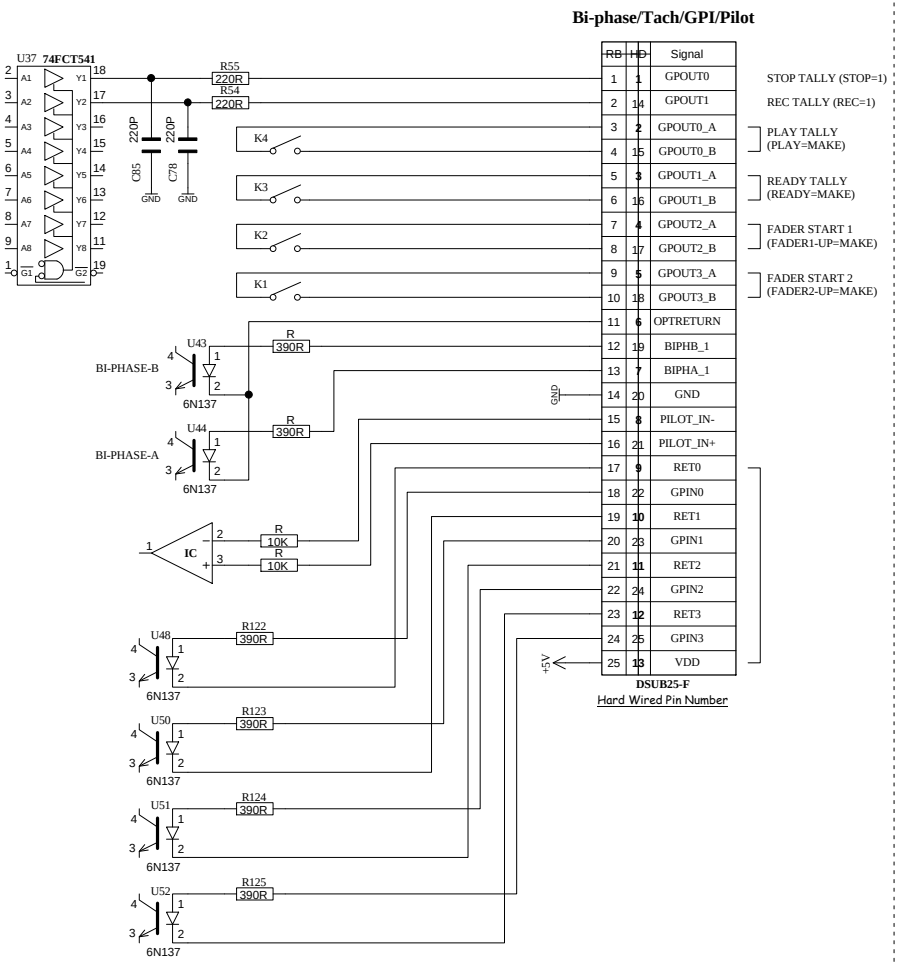


CABLE : MOGAMI 2997
5m

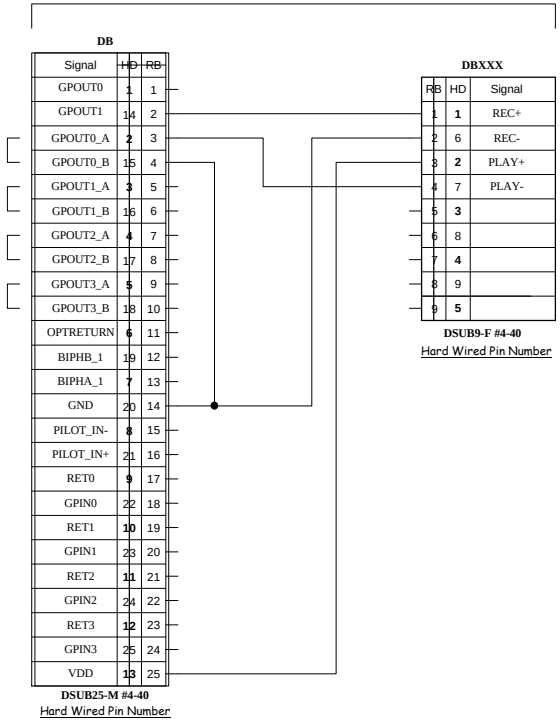
(c)CURRENT,INC.	CSP349 rev.1-3	Oct.2012
H.ICHIHASHI	GPI & TB-BOX CABLE	CSP349 rec1-3 GPI/TB cable

powered by clariscad

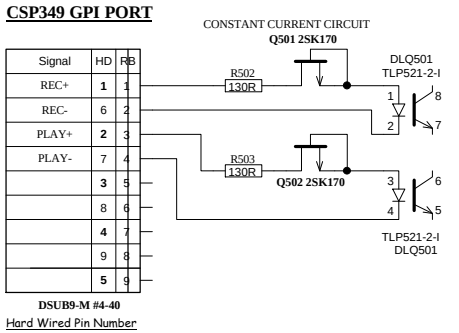
USD, SYNC I/O



CONNECTION CABLE



CSP349 ProMONITOR



(c)CURRENT,INC.	C S P 3 4 9	SEP.2007
H.ICHIHASHI	PROTOOLS USD / SYNC IO CONNECTION	1 OF 1